

# 愛知県感染症情報

平成 11 年第 35 週（9 月第 1 週）

（コメント）

突発性発疹の報告数は定点あたり 1.45 人（162 人/112 定点）で先週から増加しています。

先生方からのコメントの表記方法を病名、年齢、性別の順に統一しました。

（先生方からのコメント）

- ・ マイコの高値の子供が目につきます。  
（豊橋市 富田小児科）
- ・ 1 つの保育園で流行性角結膜炎及び咽頭結膜炎が流行中です。  
（豊橋市 あずまだこどもクリニック）
- ・ サルモネラ 0-4 52 才女  
カンピロバクター 2 才女  
病原性大腸菌 0-6 16 才男  
サルモネラ 0-4 5 才女  
（岡崎市 医療法人川島小児科水野医院）
- ・ MCLS（川崎病）4 才女  
サルモネラ 0-4 2 才男  
病原性大腸菌 0-6 3 才男  
（岡崎市 花田こどもクリニック）
- ・ カンピロバクター、黄色ブドウ球菌 MRSA(-) 2 才男  
（岡崎市 にいのみ小児科）
- ・ とびひが増えてきました。  
（西尾市 やすい小児科）
- ・ サルモネラ 0-9 6 才男、キャンピロバクター 8 才男  
（刈谷市 まついこどもクリニック）
- ・ 病原性大腸菌 0-6 7 才男  
（豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック）
- ・ サルモネラ 0-9 2 才女  
（東海市 東海市民病院）

- ・ キャンピロバクター腸炎 4才男。  
サルモネラ腸炎 0-4 3才男  
(瀬戸市 津田こどもクリニック)
- ・ 突発性発疹症散発  
手足口病、ヘルパンギーナ流行終了  
伝染性膿痂疹比較的多く見られますが、その他目だった感染症ありません。  
(尾張旭市 佐伯小児科医院)
- ・ 1才と3才のヘルパンギーナ兄弟例(2人とも1か月前にもヘルパンギーナに罹患している)  
(春日井市 朝宮こどもクリニック)
- ・ 感染症も減少してきました。  
(春日井市 かちがわ北病院)
- ・ マイコプラズマ肺炎が多い様に思えます。  
(春日井市 片山こどもクリニック)
- ・ 病原性大腸菌 EPEC0 - 1 4才男  
キャンピロバクター 2才女  
ブドウ球菌(MRSA) 2才男  
糞便アデノウィルス陽性者2名(0才男、2才男)  
糞便ロタウィルス陽性者2名(1才女、6才女)  
(尾西市 城後小児科)
- ・ 今週は水痘と Mumps が目立ちました。  
ヘルペス口内炎 3例(8才男、5才男、2才男)  
(一宮市 あさのこどもクリニック)
- ・ 病原大腸菌 0-18 VT1、2(-) 3才男  
(江南市 河野小児科)
- ・ 流行している感染症もなくおちついていきます。  
(江南市 みやぐちこどもクリニック)
- ・ ほとんど感染症ありません。  
(岩倉市 なかよしこどもクリニック)

(1~3類感染症の発生状況)

腸管出血性大腸菌感染症患者2名。

豊田市保健所管内在住の18才男。8/25発病、8/27初診、8/30診定。

菌型は、0157 VT2(+).

豊橋市保健所管内在住の 25 才女。8/27 発病、8/29 初診、9/2 診定。  
菌型は、0157 VT2(+).

( 全数把握の 4 類感染症の発生状況 )

劇症型溶血性レンサ球菌感染症患者 1 名。

マラリア患者 1 名。

梅毒患者 1 名。

第 33 週 ( 8 月 16 日 ~ 22 日 ) の 4 類感染症 ( 週報対象のもの ) の全国状況  
定点当たり報告数が例年の同時期に比べかなり多いのは、A 群溶血性レンサ  
球菌咽頭炎と感染性胃腸炎、やや多くなっているのは突発性発疹とヘルパン  
ギーナである。ヘルパンギーナは秋田県で定点当たり 5.26、長野県で 5.23  
の報告がある。流行性角結膜炎は愛媛県と大分県で定点当たり報告数が急増  
し、それぞれ 6.14、5.00 となっている。

( Infectious Diseases Weekly Report より抜粋

厚生省感染症研究所感染症情報センター感染症情報室提供 )